

九州杉デザイン展

2009
12/8 火
2010
1/31 日

杉をデザイン、暮らしをデザイン、環境をデザイン



入館料 / 一般 200円 大学生 130円 高校生以下無料
会場 / 熊本県伝統工芸館 2階常設特別展示室

〒860-0001 熊本市千葉城町3番35号 TEL.096-324-4930 FAX.096-324-4942

■主催：財団法人熊本県伝統工芸館 ■共催：九州杉デザイン連携研究会 / くまもとデザイン協議会
■協賛：九州電力(株)熊本支店 ■後援：熊本県 / 熊本県文化協会 / 熊本県伝統工芸協会 / 熊本日日新聞社 / NHK熊本放送局 / RKK/TKU/KKT/KAB/FMK/FM791

杉をデザイン、暮らしをデザイン、環境をデザイン

日本は国土の2/3は森林に覆われています。なかでも杉は、蓄積量も多く日本特産の代表的な針葉樹です。「まっすぐ」に伸びることから、「すぐ」が「すぎ」と呼ばれるようになったと言われています。杉は、古くから建築物、家具調度品、生活用品まで、使いやすい良質な木材として、私たち日本人の暮らしと密接に関わってきました。今日、戦後植林された人工林の多くが、伐採期を迎えています。しかし、住宅着工数の減少、安い外材の輸入や代替材におされ、また、生活スタイルの変化から、杉材の利用が少なくなってきています。



今回の展示会では、九州杉デザイン連携研究会の協力の下、九州地域産の杉を使った製品を紹介し、杉材の価値を見直し、日常生活の中で使っていくことを提案します。国産材として、杉だけでなく、一部ヒノキや広葉樹をつかった木工品や玩具も併せて展示しています。見て、触れて感触を確かめていただき、杉の香りに囲まれながら杉の良さを五感で感じて、リフレッシュしながら楽しんでいただきたいと思います。販売製品もありますので、ご来場をお待ちしています。

□ 展示内容

- ・ 杉製品で暮らしの提案(テーブル、イス、座卓)・ 木育遊具(木のプール、滑り台、積み木、木馬など)
- ・ テーブルウェア・ 杉、ヒノキの室内用サンダル・ 組子家具・ 照明器具・ 杉、ヒノキの内装材
- ・ 昔懐かしい杉の家具(タンス、踏み台、お櫃など)・ 杉、ヒノキ材の紹介

□ ギャラリートーク

12月12日(土) 午後2時~3時 **会場にて**